

# 京都市令和2年度当初予算（文化関係）

～「持続可能なまち・京都」へ！！挑戦と改革の予算～

## 予算編成に当たっての考え方

### （基本姿勢）

- ① 文化を基軸に、京都が培ってきた持続可能な都市を目指すSDGsの理念と、あらゆる危機にしなやかに対応し、より魅力的な都市となるレジリエンスの理念を融合。この理念を全ての施策立案の基礎に据え、「暮らしに安心、まちに活力、未来に責任」のまちづくりを推進
- ② 政府の経済対策の財源を活用した令和元年度2月補正予算と一体のものとして、市民生活の安心安全を守り、全国トップレベルの福祉、医療、子育て支援、教育を更に充実させるとともに、京都の強みを活かした経済政策を積極的に実行
- ③ 京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」の総仕上げとして、実施計画第2ステージの全307施策を着実に前進。同時に、市長と市民との141のお約束・公約の8割を計上し、新しい京都の挑戦と改革のスタートダッシュを切る。
- ④ 厳しい財政状況の中、縮小一辺倒にならずに、担税力の強化や民間活力の導入など財源確保に工夫を凝らすとともに、人件費の削減や事業の見直しなどの歳出改革を徹底し、持続可能な財政の確立を目指す。

### （5つの政策の柱）

- ① 人生100年時代の安心づくり、子育て・教育環境日本一の推進
- ② いのちを守る、防災減災先進、環境先進のまちづくり
- ③ 力強い経済の持続的発展と都市の活力の創造
- ④ 文化・スポーツの力を暮らしとところの豊かさにつなげる、「世界の文化首都・京都」の実現や観光の京都モデルの構築
- ⑤ まちづくりを支える持続可能な財政の確立

## 文化の力をくらしとこころの豊かさにつなげる 「世界の文化首都・京都」の実現

(1) 東京オリ・パラ，日本博，京都コンGRESなどを好機と捉え，京都・日本文化を更に振興，文化と経済の好循環による文化芸術の持続的発展

- ① **新規** 京都映画賞（仮称）の実施～時代劇の担い手を未来へ～ 1,600万円  
京都が培ってきた映画文化の継承と更なる振興を図るとともに，時代劇をはじめとした京都での更なる映画製作につなげるため，京都ならではの新たな映画顕彰制度を創設
- ② **新規** 京都国際マンガ・アニメ大賞の実施 800万円  
「京都国際漫画賞」を発展的に再構築した「京都国際マンガ・アニメ大賞」を創設し，「マンガ部門」「イラスト部門」に，「CGアニメ部門」を新たに加え，マンガ家，イラストレーターだけではなく，アニメーター等のスキルアップの機会を創出するとともに，受賞者を市内のコンテンツ関連企業にマッチングすることで，コンテンツ都市としての「京都ブランド」向上を促進
- ③ **新規** KYOTO STEAM－世界文化交流祭－ 1億7,000万円  
アーティストと企業等とのコラボによるアート作品を募集し展示する国際的なアートコンペティションや，令和3年度の第2回フェスティバル「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2022」（仮称）に向けたプレ事業等を実施
- ④ **新規** アート市場活性化事業 650万円
  - ①企画ギャラリーの集積と若手芸術家の創作環境の向上を目指す新たな取組として，展覧会の開催及び国内外のアートフェアへの出展を支援
  - ②芸術家が作品をPRし，販売につなげることができる「ビューイングルーム」等の創設に向けた検討
- ⑤ **新規** 京都文化カプロジェクト2016－2020の実施 2,500万円  
東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催に向け，市・府・商工会議所等のオール京都で，舞台芸術，美術・工芸，くらしの文化などあらゆる分野を総合した文化プログラムを実施
- ⑥ **新規** 京都文化遺産保存活用事業 800万円  
京都文化遺産の維持継承のため，大学・研究機関，企業，NPO等と連

携しながら、京都文化遺産を知り、守り、活かすにふさわしい収蔵環境、展示環境への改善に向けた検討、保存活用の一層の促進に向けた相談窓口の設置、収蔵品の保存処理技術の開発を目指した研究等を実施

⑦**新規** 市文化財の「保存と活用の好循環」創出に向けた重点的修理推進事業  
(仮称) 3,200万円

2025年大阪・関西万博の開催に向けて、市内における地域の活性化の核となる文化財の集中的な修理を推進

⑧**充実** 京都市京セラ美術館オープニングプロジェクト 3億5,400万円

オープニングイヤーの令和2年から1周年となる令和3年にかけて、展覧会や新しい美術館の楽しみ方を提案する自主企画を積極的に展開するほか、国が全国各地で展開する「日本博」の主要事業として特別展「京(みやこ)の国宝―守り伝える日本のたから―」を文化庁等と連携して開催

(2) 文化芸術により、社会課題や困難を緩和し、共生社会を実現するための基盤づくりの推進

①**新規** 文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業 1,600万円

福祉施設等が文化芸術の取組に着手する際の相談事業の実施、文化芸術と社会課題をつなぐコーディネーターの育成など、文化芸術により社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会を実現するための基盤づくりを実施

②**充実** 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出 820万円

一流の芸術家を小・中学校等に派遣し、ワークショップ等を実施する「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」について、小学校及び中学校等での実施回数を増やし、できるだけ多くの子どもが文化芸術に触れられるよう機会を充実する。

③**新規** 京都芸術センターバージョンアップ事業 200万円

開設20周年の節目を迎える京都芸術センターの創造的な取組を広く認識していただき、市民と文化芸術活動の距離を縮めて身近なものにしていく。

また、他都市にはない施設の独自性やこれまでの成果を生かして、京都・日本における芸術の拠点施設として重要な役割を担うべく、新たな取組を進める。